



～全回答者（136先）の93%が今回のMPMでの政策変更なしとの見方。 3か月先の無担保コールON金利予想では、現状対比「上昇」の見方が前回調査時から2倍に増加し、調査開始以来初の5割超となった。また、3か月先の2年・10年国債金利予想も依然として「上昇」の見方が強く、回答者の7割以上を占めた。

### 【調査の総括】

- 全回答者（136先）の93%が今回のMPMでの政策変更なしを想定。引締めを予想する先は前回から減少（14% → 7%）し、緩和を予想する先はなかった。
- 3か月先の無担保コールON金利予想は、現状対比「上昇」の見方が調査開始以来初の5割超まで増加（27% → 55%）。一方、「不変」の見方が大きく減少（72% → 40%）し、「低下」の見方はやや増加（1% → 5%）した。
- 3か月先の2年国債金利の予想では、「上昇」を想定する先は前回から変わらず全体の76%、「不変」を想定する先は全体の22%（前回比▲1%）、「低下」の見方は全体の2%であった。
- 3か月先の10年国債金利予想では、「上昇」を予想する先が前回から減少（85% → 77%）し、「不変」を予想する先が増加（14% → 21%）。「低下」を予想する先は全体の2%であった。

### 【調査の概要】

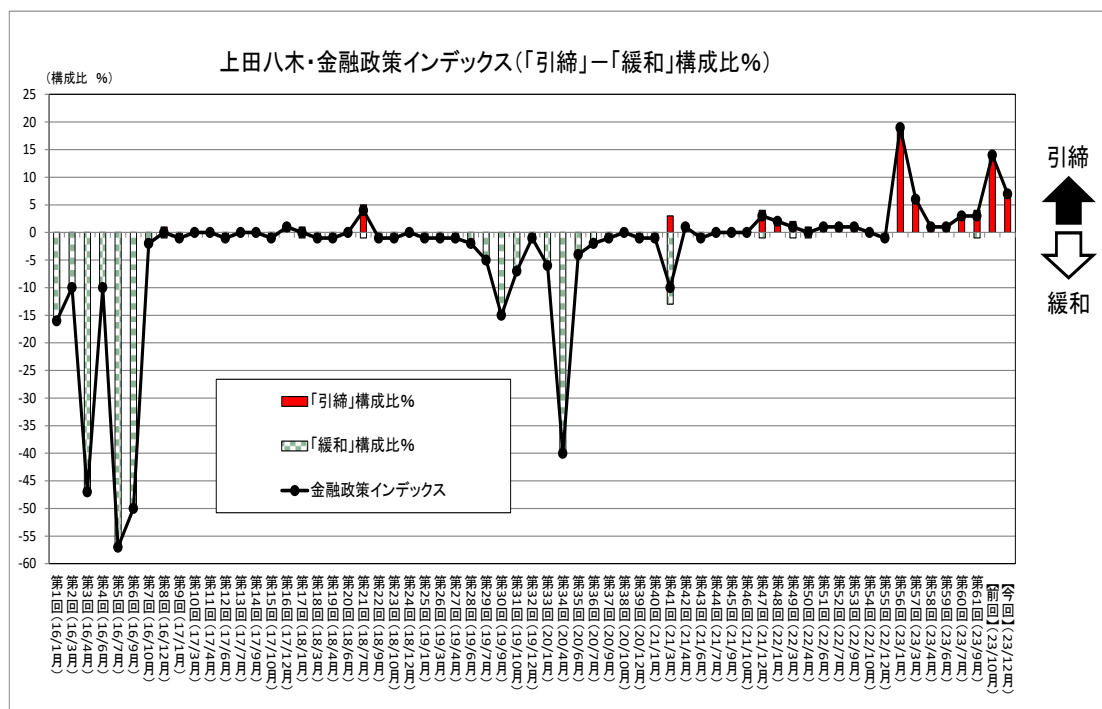
調査対象	弊社と取引のある銀行、証券会社、保険会社、事業法人などの市場取引関係者（154先）
調査内容	日本銀行の金融政策決定会合における結果予想と、3か月先の金利見通し
調査方法	2023年12月12日～14日の3営業日間、電話等によるヒアリングにより実施
回答率	88.3% （回答者数136先 < Q 1 における回答者数 >）

### 【調査の結果】

(Q 1) 日本銀行の次回の金融政策決定会合（12月18日～12月19日）における決定について

回答者の93%が「不変」の見方。「緩和」の見方は0%。「引締め」は、7%。

上田八木・金融政策インデックス（「引締め」－「緩和」構成比%）は、「7」（前回14）であった。



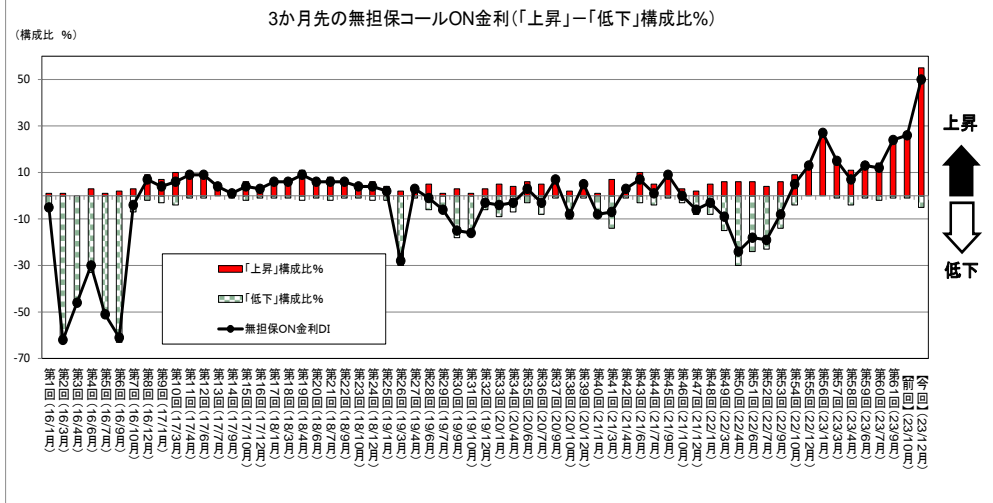
(Q 2) 3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の55%が「上昇」と予想、5%が「低下」を予想、「不変」とみている先は40%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は+2.8%ポイント(前回2.7% → 今回5.5%)。

「低下」とみる先は+4%ポイント(前回1% → 今回5%)。

「不変」とみる先は▲3.2%ポイント(前回7.2% → 今回4.0%)。



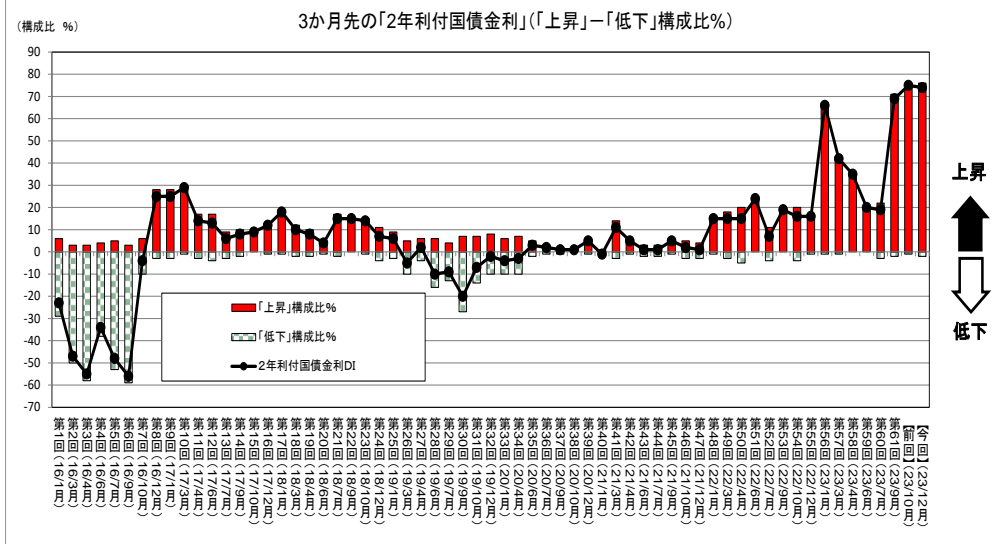
(Q 3) 3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の76%が「上昇」を予想、「低下」とみる先は2%で、「不変」を予想した先は22%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は±0%ポイント(前回76% → 今回76%)。

「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1% → 今回2%)。

「不変」とみる先は▲1%ポイント(前回2.3% → 今回2.2%)。



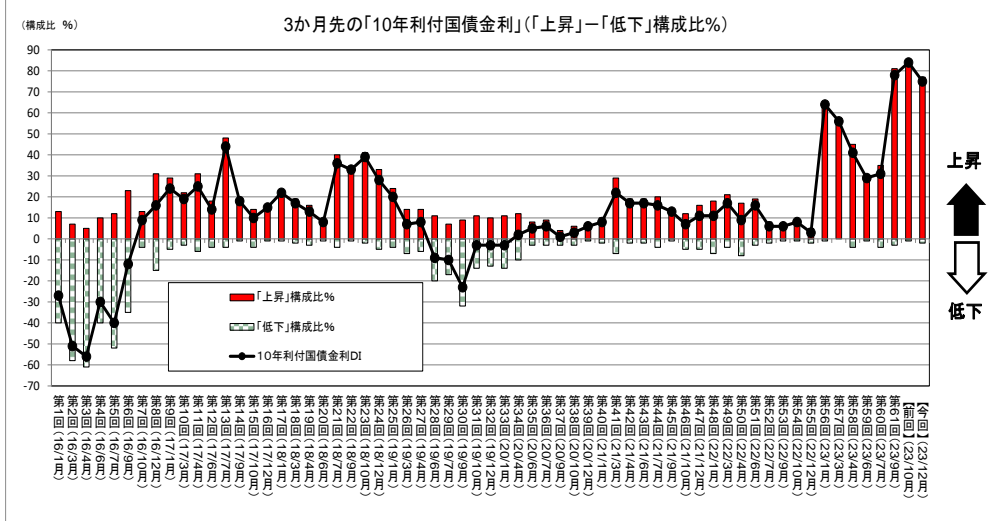
(Q 4) 3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。

回答者全体の77%が「上昇」を予想、2%が「低下」を予想、「不変」を予想した先は21%であった。

前回との比較では、「上昇」とみる先は▲8%ポイント(前回85% → 今回77%)。

「低下」とみる先は+1%ポイント(前回1% → 今回2%)。

「不変」とみる先は+7%ポイント(前回1.4% → 今回2.1%)。



【調査結果の詳細】

調査日	2023年12月12～14日
調査先	154先
回答率	88.3%

**（Q1）日本銀行の次回の金融政策決定会合（12月18日～12月19日）における決定内容について、どのような結果になるとみているのか。**

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
緩和	0 (構成比%)	0	± 0
不変	93	86	+ 7
引締	7	14	▲ 7
<hr/>			
上田八木・金融政策インデックス（「引締め」-「緩和」構成比%）	7	14	▲ 7

**（Q2）3か月先の「無担保コールON金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	5	1	+ 4
不変	40	72	▲ 32
上昇	55	27	+ 28
<hr/>			
短期金利予想DI	50	26	+ 24

**（Q3）3か月先の「2年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	2	1	+ 1
不変	22	23	▲ 1
上昇	76	76	± 0
<hr/>			
2年国債金利予想DI	74	75	▲ 1

**（Q4）3か月先の「10年利付国債金利」は、現状対比、どのようになっているとみているのか。**

	(今回)	(前回10月27日)	変化幅
低下	2	1	+ 1
不変	21	14	+ 7
上昇	77	85	▲ 8
<hr/>			
10年国債金利予想DI	75	84	▲ 9

【本調査に関する照会先】 企画部 島本、青木  
(電話 03-3270-1475)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。

記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

#### **上田八木短資株式会社**

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会